

17 松川処理分区雨水貯留施設の整備について

本市の中心市街地の浸水被害解消や松川の更なる水質保全のため、現在、松川処理分区に大規模な雨水貯留施設の整備を進めております。

つきましては、雨水貯留施設の早期完成、供用開始に向けた整備には多額の経費を要することから、今後とも**雨水貯留施設の整備が計画的、かつ、継続的に進められるよう事業費の確保**について格段の配慮をお願いします。

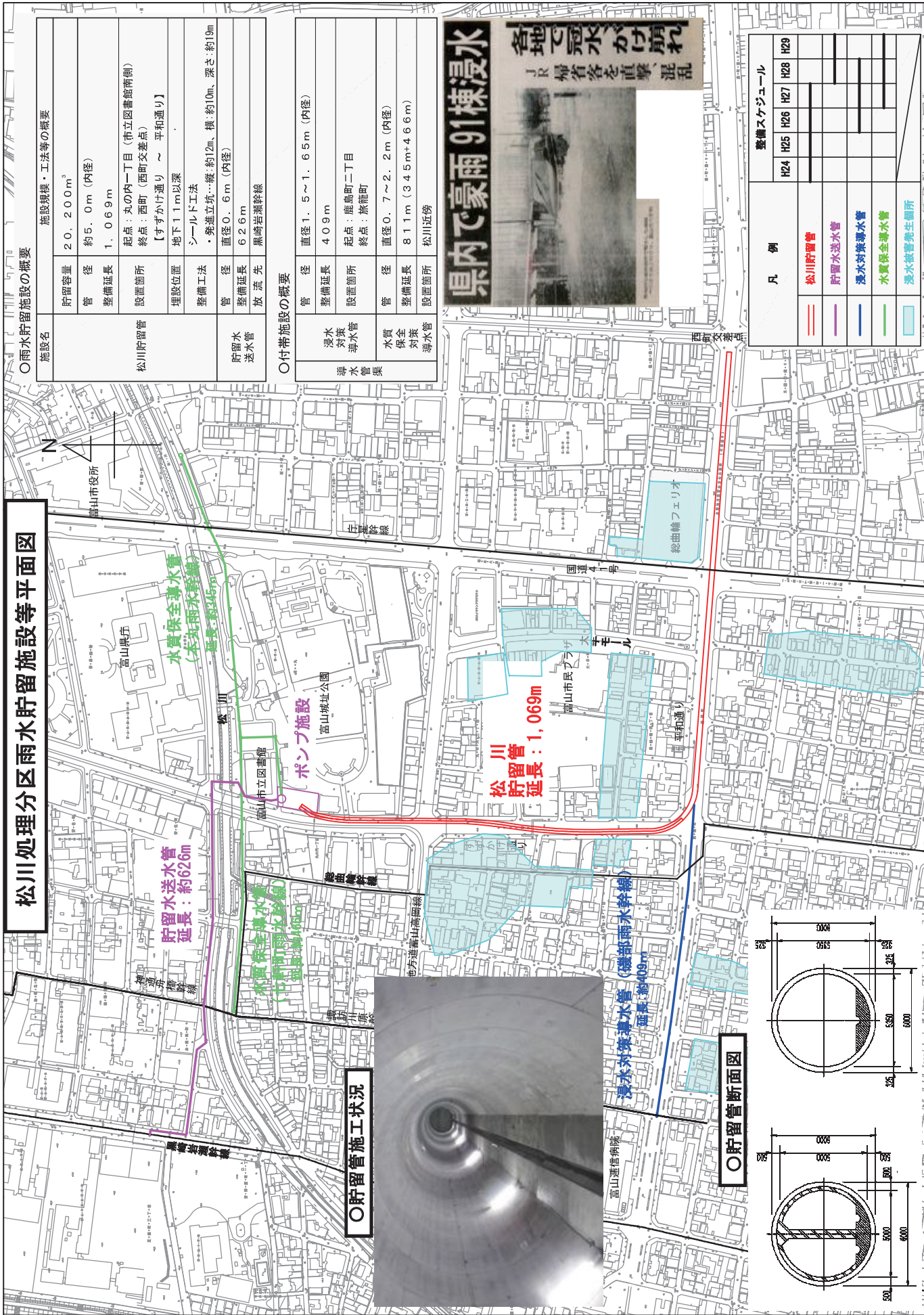
1. 事業年度 平成19年度から平成29年度
 (うち工事期間 平成24年度から平成29年度)

2. 全体事業費 4,720百万円

3. 施設概要 貯留容量 約20,200m³
 整備延長 約 1,069m

4. 平成28年度事業費
 貯留施設整備工事(貯留水送水管) 144百万円
 国庫支出金 72百万円
 企業債 65百万円
 自主財源 7百万円

松川処理分区雨水貯留施設等平面図



○雨水貯留施設の概要

施設名	施設規模・工法等の概要	
松川貯留管	貯留容量	20,200m ³
	管径	約5.0m (内径)
	整備延長	1,069m
	設置箇所	起点：丸の内一丁目 (市立図書館南側) 終点：西町 (西町交差点) 【すずかけ通り～平和通り】
	埋設位置	地下1.1m以下
貯留水送水管	シールド工法	・発進立坑…縦：約12m、横：約10m、深さ：約10m
	管径	直径0.6m (内径)
	整備延長	626m
	放流先	黒崎岩瀬幹線

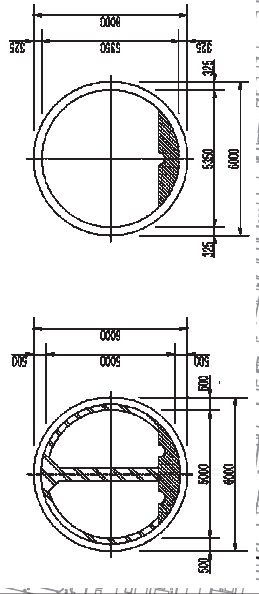
○付帯施設の概要

浸水対策 導水管	管径	直径1.5～1.65m (内径)
	整備延長	409m
	設置箇所	起点：鹿島町二丁目 終点：旅籠町
水質保全 導水管	管径	直径0.7～2.2m (内径)
	整備延長	811m (3.45m+4.66m)
	設置箇所	松川近傍

○貯留管施工状況



○貯留管断面図



凡例	整備スケジュール					
	H24	H25	H26	H27	H28	H29